

平成 30 年度  
第 3 回京都府いじめ防止対策推進委員会

日 時：平成 30 年 11 月 28 日(水) 9:30～

場 所：ルビノ京都堀川 「松」

会議次第

- 1 開会
- 2 説明事項
  - (1) 前回委員会の概要について
  - (2) 平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果について
- 3 その他
- 4 閉会

## 平成 30 年度第 2 回京都府いじめ防止対策推進委員会概要

- 1 日 時：平成 30 年 9 月 19 日(水) 9:30～
- 2 場 所：ルビノ京都堀川「嵯峨」
- 3 出席者 【委 員】 6 名（欠席 1 名）  
【府教委】 指導部長、学校教育課長、高校教育課長 他  
【傍聴者】 なし
- 4 概 要 （委員会の決定事項）
  - (1) 前回委員会の概要
  - (3) 平成 30 年度第 1 回京都府いじめ調査結果について

<主な意見>

※ ○は委員、●は事務局

### (1) 前回委員会の概要について

前回の質問に対する回答

○いじめ調査について、学校評価の項目にどのように位置付けられているのか。

●府立高等学校（47 校）全日制、定時制、通信制の全 62 課程において、学校評価項目に「いじめ調査」の位置付けを確認したところ、「いじめ」という文言を使って位置付けている学校は 26 課程であった。「いじめ」という言葉そのものではなくても、「人権教育」や「教育相談体制」の評価項目について、「いじめ」につながる悩みを抱える生徒への対応を評価項目に示している学校もある。引き続き各学校において、基本方針の改訂や学校評価への位置付けについて指導していきたい。

○小中学校での「学校評価への位置付け」はどうなっているのか。

●学校評価の報告は設置者となっており、府教委としては詳細に把握していない。報告を受けている附属 4 中学校については、学校評価にいじめ調査そのものを位置付けている学校は 2 校であり、いずれも、生徒指導や人権教育の充実といった項目で定め

ている。それ以外の学校については、個別に「いじめ」という文言は挙げていないが、生徒指導の充実の中に「いじめ」について念頭に置きながら、学校評価を行っているという状況である。市町（組合）立小中学校、義務教育学校においては、生徒指導の充実、人権教育の推進といった項目で「いじめ調査」について、学校評価に位置付けている学校が多いように聞いている。

## （２）平成 30 年度第 1 回京都府いじめ調査報告について

### 1 いじめ調査報告について

○調査の比較について、昨年度の 1 回目と比較していないのはなぜか。

●調査結果を昨年度の 1 回目と比較していない理由は、昨年度 1 回目と調査方法が異なるためである。

○この調査の形式では、1～3 月の状態は把握していないのか。

●1 回目、2 回目は京都府独自のいじめ調査であり、1～3 月を含んだ年間の状況については、文部科学省に提出している問題行動調査でいじめの状況を把握している。

○いつから調査を始めているのか。

●平成 25 年度から京都府独自で調査を行っている。

○特別支援学校の認知件数が在籍数に対して割合が高いのはなぜか。

●件数が多い理由は、特別支援学校では小学部、中学部、高等部に分けて調査を行っている。児童生徒の特性によっては、質問紙ではなく聞き取りを中心に調査を行う場合もある。より密接に個別に嫌な思いを聞き取ることから、認知件数が多くなっていると考えている。

○「要指導」の中に、ハイリスクで重大事態となりそうな事案はあるのか。

●小中義務学校の案件の中に、重大事態となりそうないじめ事案について報告を受けていないが、市町（組合）教育委員会は詳細を把握している。

●高等学校は、ハイリスクとなりそうな事案は常にある。嫌な思いをして 30 日以上欠席をすると重大事態となる。早期に報告があれば対応できる状態である。

○経年を比較する際、昨年と 1 回目と比較する方がいいのではないか。

●今年度とは調査方法が異なるため、比較ができなかった。今後の調査比較については、同じ時期、同じ調査方法で比較できると考える。

○未調査者の中に、保護者や児童生徒が居所不明とあるが、安全面で問題はないのか。

●連絡が取れない状況であるが、各学校で居所不明について、他の関係機関と連携を図り、安否確認をしている。

○「アンケート調査の内容」について検討がなされたが、アンケートは必ず児童生徒が回答するものなのか。家庭訪問でも子どもに会えない場合やフリースクールに通所している児童生徒に対し、本人ではなく、保護者に調査、聞き取りをすることが可能なのか。また、郵送で調査することはできるのか。

●原則として、児童生徒本人へのアンケートや面談による調査で回答することとしている。長期欠席者などにおいては、必ずしもアンケートではなく、家庭訪問などで聞き取ることも行っている。例えば、保護者が答え把握する場合もある。様々なケースに応じて可能な限り柔軟に、調査を行っている。

○未調査者の中で、家庭訪問で把握したという実態を教えてほしい。

●市町（組合）教育委員会において数値は把握している。

○「いじめ調査アンケート」の実施に向けて、教職員の研修は行っているのか。

●教師は年度当初に「いじめの対応」について、研修を行い、共通理解を図っている。児童生徒についても、各学年で「いじめ」についての理解を図る学習指導を行ったうえで、いじめアンケート調査や聞き取りを実施している。

○府教委として、アンケート調査結果をどのように市町（組合）教育委員会や各学校に返していくのか。

●この結果を踏まえ、各市町（組合）教育委員会の担当指導主事や生徒指導担当の協議会等、また、校長会や教頭会の理事会を通じて、いじめ調査の結果を報告している。

○伝え方はどのようにしているのか。「認知が減少した」とか、「要指導が増加した」等の数値を伝えるのではなく、緊張感が伝わっているのか。

●調査がすべてではなく、この調査をきっかけにいじめについて危機感をもって取り組むように伝えている。

○いじめの態様はあるが、いじめの場の調査はできないのか。例えば、「部活動」の事案が多いように感じる。部活動の場でのいじめを把握する必要があるのではないか。

●いじめの調査において、部活動であるかどうかの項目はないが、市町（組合）教育委員会へは一人一人の個別の事案に対して、詳細に報告しており、どのような場であったかについても把握していると考えている。

○調査の項目として、「部活動」の項目があることで、注意喚起ができる場合がある。また、教師、顧問もいじめに気付く感度が高まるのではないかと思う。今後、見直しの際、可能性として検討してほしい。

○学校現場の「いじめに気付く感度」が下がれば問題が出てくるといった歴史がある。いかに感度を上げるかが大切であり、感度を上げるのも府教委の役割ではないかと思う。

●今後の調査の見直しにおいて、教師が「いじめに気付く感度を高める」きっかけとなるような調査にしていきたい。

**第 3 回京都府いじめ防止対策推進委員会**

平成 30 年 11 月 28 日(水) 9:30～

**平成 29 年度児童生徒の問題行動・不登校等  
生徒指導上の諸課題に関する調査**

平成29年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査について

1 概要

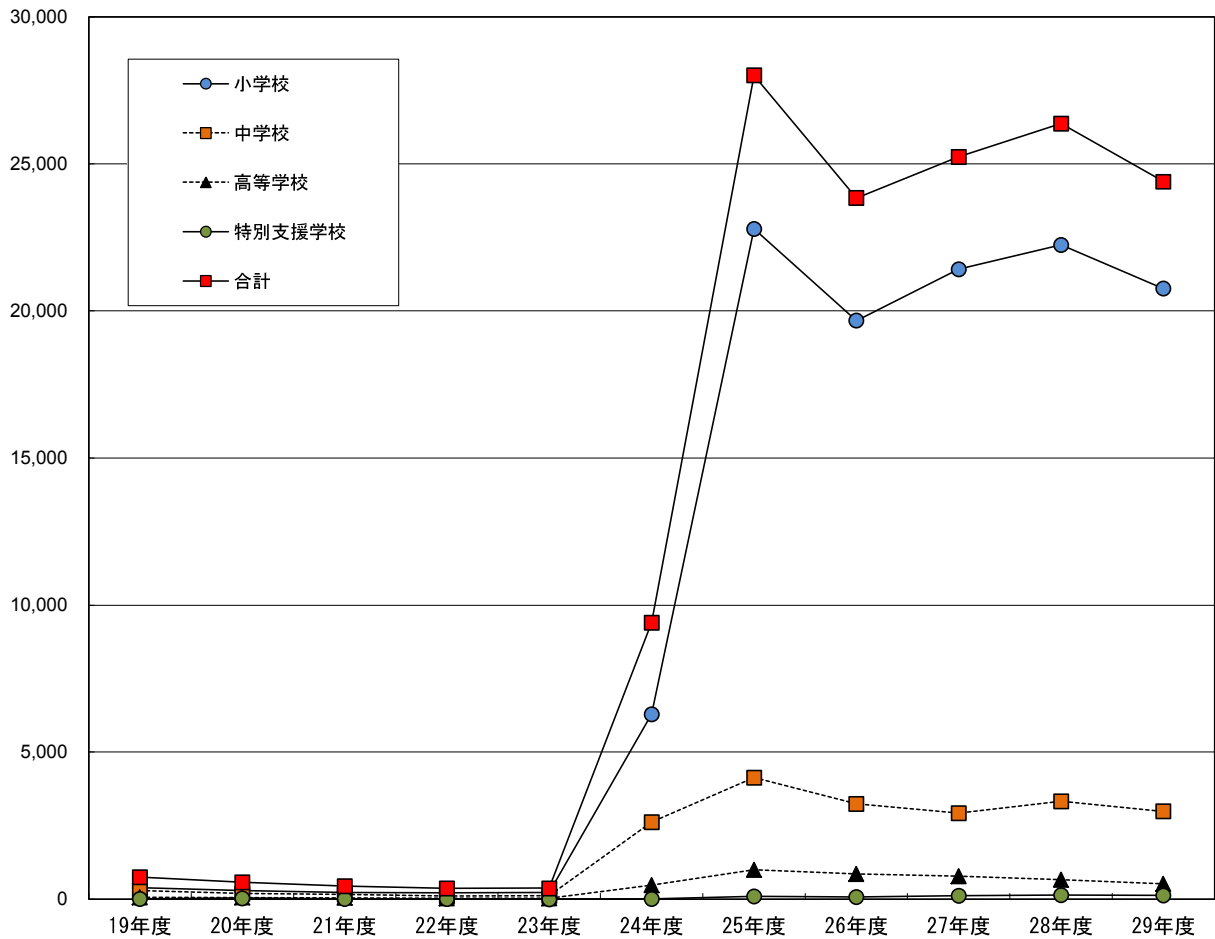
項目	全国（国公立）			京都府（国公立）			
	28年度	29年度	増減	28年度	29年度	増減	
暴力行為の発生件数 【千人当たりの件数】	合計	59,444件 【4.4】	63,325件 【4.8】	3,881件	2,096件 【7.7】	2,161件 【8.0】	65件
	小学校	22,841件 【3.5】	28,315件 【4.4】	5,474件	859件 【6.6】	946件 【7.3】	87件
	中学校	30,148件 【8.8】	28,702件 【8.5】	▲1,446件	1,033件 【14.9】	1,039件 【15.3】	6件
	高等学校	6,455件 【1.8】	6,308件 【1.8】	▲147件	204件 【2.7】	176件 【2.4】	▲28件
	対教師暴力	8,018件 【0.6】	8,627件 【0.6】	609件	237件 【0.9】	307件 【1.1】	70件
	生徒間暴力	39,484件 【2.9】	42,605件 【3.2】	3,121件	1,434件 【5.2】	1,416件 【5.2】	▲18件
	対人暴力	1,352件 【0.1】	1,306件 【0.1】	▲46件	97件 【0.4】	85件 【0.3】	▲12件
	器物損壊	10,590件 【0.8】	10,787件 【0.8】	197件	328件 【1.2】	353件 【1.3】	25件
いじめの認知件数 【千人当たりの件数】	合計	323,143件 【23.8】	414,378件 【30.9】	91,235件	26,775件 【96.8】	24,824件 【90.7】	▲1,951件
	小学校	237,256件 【36.5】	317,121件 【49.1】	79,865件	22,503件 【173.0】	21,009件 【162.4】	▲1,494件
	中学校	71,309件 【20.8】	80,424件 【24.0】	9,115件	3,417件 【49.2】	3,093件 【45.4】	▲324件
	高等学校	12,874件 【3.7】	14,789件 【4.3】	1,915件	710件 【9.5】	595件 【8.4】	▲115件
	特別支援学校	1,704件 【12.4】	2,044件 【14.5】	340件	145件 【52.5】	127件 【46.1】	▲18件
小中学校不登校児童生徒数 【千人当たりの不登校児童生徒数】	合計	133,683人 【13.5】	144,031人 【14.7】	10,348人	2,625人 【13.2】	2,697人 【13.7】	72人
	小学校	30,448人 【4.7】	35,032人 【5.4】	4,584人	612人 【4.7】	644人 【5.0】	32人
	中学校	103,235人 【30.1】	108,999人 【32.5】	5,764人	2,013人 【29.0】	2,053人 【30.1】	40人
高等学校不登校生徒数 【千人当たりの不登校生徒数】	48,565人 【14.6】	49,643人 【15.1】	1,078人	1,003人 【13.9】	866人 【12.1】	▲137人	
高等学校中途退学者数 《中退率》	47,249人 《1.4》	46,802人 《1.3》	▲447人	734人 《1.0》	750人 《1.0》	16人	

※数値は国公立

2 京都府（国公立）の特徴

- (1) 暴力行為  
発生件数は、校種別では、小・中学校で増加、高校で減少。  
形態別では、対教師暴力、器物損壊は増加、生徒間暴力、対人暴力で減少。全体で65件の増加。  
千人当たりの発生件数は8.0件で、前年度より0.3ポイント増加。
- (2) いじめ  
全校種で減少。千人当たりの認知件数は90.7件で、前年度より6.1ポイント減少。
- (3) 小・中不登校  
不登校児童生徒数は、小・中学校ともに増加し全体で72人増加。前年度より0.5ポイント増加。
- (4) 高等学校不登校  
不登校生徒数は866人で、137人減少。前年度より1.8ポイント減少。
- (5) 高等学校中途退学者  
中途退学者数は750人で、16人増加。前年度とポイントは同数。

① いじめの認知件数の推移 京都府：公立(京都市含む)



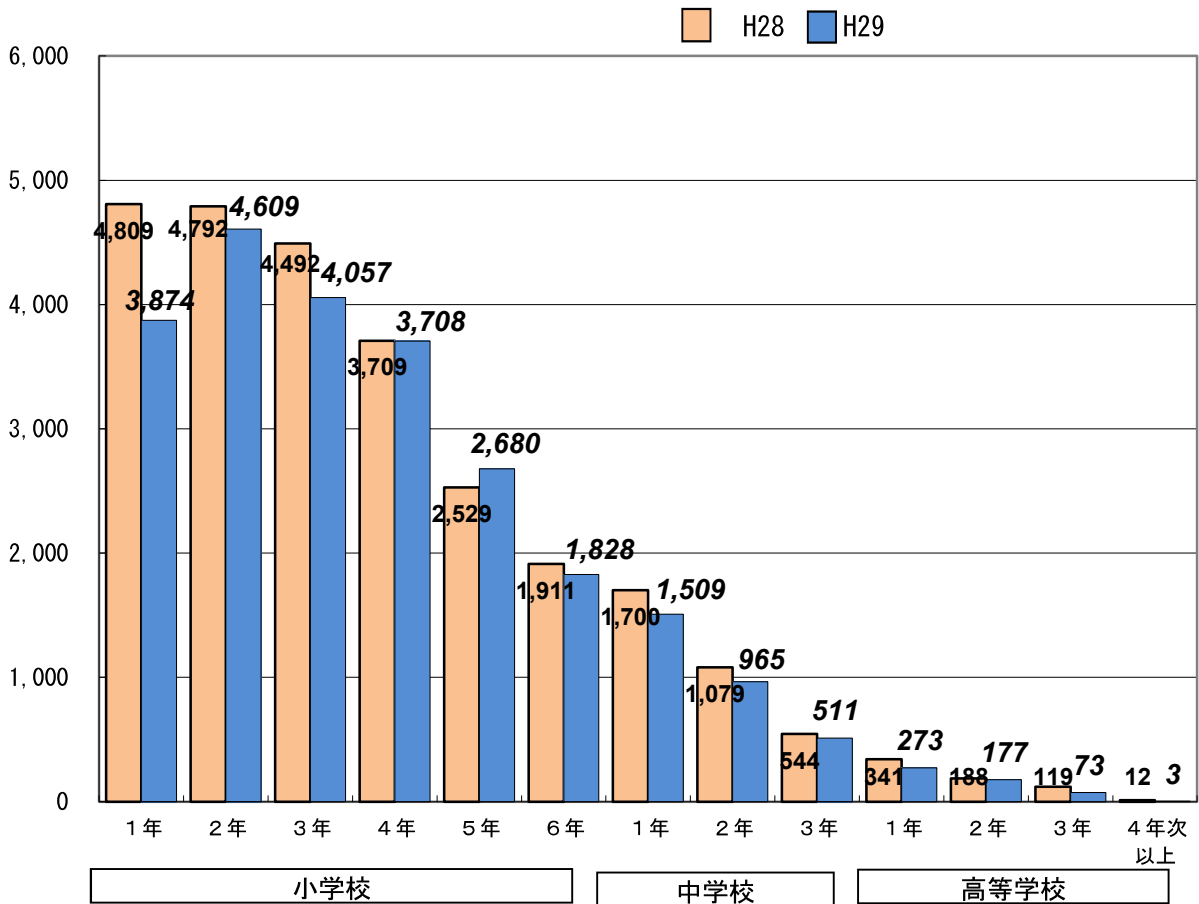
京都府：公立(京都市含む)

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
小学校	389	289	223	220	224	6,284	22,785	19,669	21,412	22,242	20,756
中学校	295	200	166	105	116	2,617	4,133	3,237	2,924	3,323	2,985
高等学校	60	50	47	33	30	479	995	856	779	660	526
特別支援学校	8	38	6	7	5	15	100	72	121	145	127
計	752	577	442	365	375	9,395	28,013	23,834	25,236	26,370	24,394



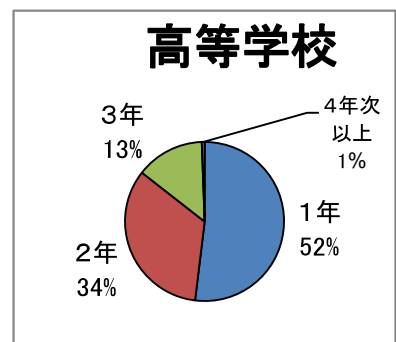
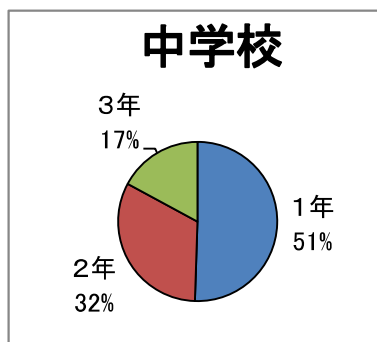
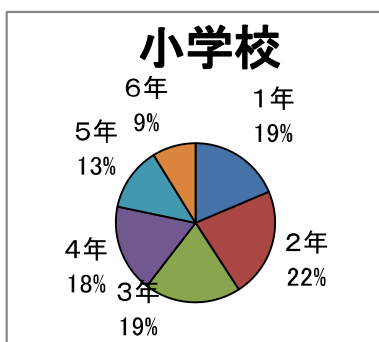
② 学年別いじめ認知状況

京都府：公立（京都市含む）



京都府：公立（京都市含む）

学年	小学校						中学校			高等学校			
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	4年次以上
28年度	4,809	4,792	4,492	3,709	2,529	1,911	1,700	1,079	544	341	188	119	12
29年度	3,874	4,609	4,057	3,708	2,680	1,828	1,509	965	511	273	177	73	3
前年度対比	▲ 935	▲ 183	▲ 435	▲ 1	151	▲ 83	▲ 191	▲ 114	▲ 33	▲ 68	▲ 11	▲ 46	▲ 9



③ いじめの発見のきっかけ

京都府：公立（京都市含む）

区 分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
学校の教職員等が発見		18,224	87.8%	2,069	69.3%	472	89.7%	111	87.4%	20,876	85.6%
内 訳	学級担任が発見	1,975	9.5%	250	8.4%	18	3.4%	23	18.1%	2,266	9.3%
	学級担任以外の教職員が発見 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	124	0.6%	144	4.8%	4	0.8%	2	1.6%	274	1.1%
	養護教諭が発見	31	0.1%	18	0.6%	1	0.1%	0	0.0%	50	0.2%
	スクールカウンセラー等の相談員が発見	1	0.0%	1	0.0%	2	0.4%	0	0.0%	4	0.0%
	アンケート調査など学校の取組により発見	16,093	77.5%	1,656	55.5%	447	85.0%	86	67.7%	18,282	75.0%
学校の教職員以外からの情報により発見		2,532	12.2%	916	30.7%	54	10.3%	16	12.6%	3,518	14.4%
内 訳	本人からの訴え	1,632	7.9%	536	18.0%	45	8.6%	13	10.2%	2,226	9.1%
	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	574	2.8%	234	7.8%	5	1.0%	2	1.6%	815	3.3%
	児童生徒（本人を除く）からの情報	226	1.1%	110	3.7%	3	0.6%	1	0.8%	340	1.4%
	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	77	0.4%	31	1.0%	1	0.1%	0	0.0%	109	0.5%
	地域の住民からの情報	9	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	0.0%
	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	10	0.0%	3	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	13	0.1%
	その他（匿名による投書など）	4	0.0%	1	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.0%
計		20,756	100%	2,985	100%	526	100%	127	100%	24,394	100%

## ④ いじめの態様

京都府:公立(京都市含む) 全国:公立

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、いやなことを言われる	京都府	12,424	59.9%	1,852	62.0%	349	66.3%	68	53.5%	14,693	60.2%
	全国	191,450	61.5%	50,692	65.7%	7,009	62.5%	1,045	54.3%	250,196	62.3%
仲間はずれ、集団による無視	京都府	4,321	20.8%	324	10.9%	56	10.6%	18	14.2%	4,719	19.3%
	全国	44,487	14.3%	10,110	13.1%	1,554	13.9%	161	8.4%	56,312	14.0%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	京都府	5,904	28.4%	521	17.5%	58	11.0%	29	22.8%	6,512	26.7%
	全国	72,106	23.2%	11,188	14.5%	1,231	11.0%	459	23.9%	84,984	21.2%
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。	京都府	3,149	15.2%	203	6.8%	20	3.8%	12	9.4%	3,384	13.9%
	全国	19,546	6.3%	3,425	4.4%	425	3.8%	165	8.6%	23,561	5.9%
金品をたかられる。	京都府	707	3.4%	38	1.3%	12	2.3%	5	3.9%	762	3.1%
	全国	3,535	1.1%	811	1.1%	267	2.4%	66	3.4%	4,679	1.2%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	京都府	1,771	8.5%	186	6.2%	58	11.0%	8	6.3%	2,023	8.3%
	全国	17,931	5.8%	4,603	6.0%	648	5.8%	111	5.8%	23,293	5.8%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	京都府	2,676	12.9%	240	8.0%	35	6.7%	23	18.1%	2,974	12.2%
	全国	24,438	7.8%	5,139	6.7%	701	6.3%	153	8.0%	30,431	7.6%
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷やいやなことをされる。	京都府	405	2.0%	226	7.6%	51	9.7%	4	3.1%	686	2.8%
	全国	3,430	1.1%	6,004	7.8%	2,032	18.1%	175	9.1%	11,641	2.9%
その他	京都府	2,248	10.8%	308	10.3%	34	6.5%	9	7.1%	2,599	10.7%
	全国	12,917	4.1%	2,811	3.6%	533	4.8%	122	6.3%	16,383	4.1%

(注)複数回答。

割合は、いじめの認知件数に対する割合

## ⑤ いじめの現在の状況

京都府:公立(京都市含む) 全国:公立

区分		解消しているもの		解消に向けて取組み中		その他		計
		件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)
小学校	京都府	17,242	83.1%	3,426	16.5%	88	0.4%	20,756
	全国	268,864	86.4%	41,968	13.5%	490	0.2%	311,322
中学校	京都府	2,391	80.1%	573	19.2%	21	0.7%	2,985
	全国	64,683	83.9%	12,218	15.8%	236	0.3%	77,137
高等学校	京都府	415	78.9%	102	19.4%	9	1.7%	526
	全国	9,507	84.8%	1,523	13.6%	182	1.6%	11,212
特別支援学校	京都府	89	70.1%	38	29.9%	0	0.0%	127
	全国	1,479	76.9%	429	22.3%	15	0.8%	1,923
計	京都府	20,137	82.5%	4,139	17.0%	118	0.5%	24,394
	全国	344,533	85.8%	56,138	14.0%	923	0.2%	401,594

⑥ いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法

京都府:公立(京都市含む) 全国:公立

区 分	小 学 校		中 学 校		高等学校		特別支援学校		計			
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)		
アンケート調査の実施	京都府	358	16	161	8	58	16	14	8	591	48	
		100%	100%	100%	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100%	100%	100%	
	全 国	15,607	3,947	7,917	1,533	2,537	1,566	380	601	26,441	7,647	
		99.9%	99.5%	99.9%	98.8%	99.9%	98.7%	97.2%	88.1%	99.9%	98.2%	
実施頻度	年1回	京都府	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
			0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
	全 国	253	96	74	39	118	172	58	167	503	474	
		1.6%	2.4%	0.9%	2.5%	4.6%	10.8%	14.8%	24.5%	1.9%	6.1%	
	年2～3回	京都府	330	14	148	8	54	15	14	8	546	45
			92.2%	87.5%	91.9%	100.0%	93.1%	93.8%	100.0%	100.0%	92.4%	93.8%
	全 国	9,506	2,564	4,012	933	1,955	1,138	285	406	15,758	5,041	
		60.9%	64.6%	50.6%	60.1%	77.0%	71.8%	72.9%	59.5%	59.5%	64.7%	
	年4回以上	京都府	27	2	13	0	4	1	0	0	44	3
			7.5%	12.5%	8.1%	0.0%	6.9%	6.3%	0.0%	0.0%	7.4%	6.3%
	全 国	5,848	1,287	3,831	561	464	256	37	28	10,180	2,132	
		37.5%	32.4%	48.4%	36.1%	18.3%	16.1%	9.5%	4.1%	38.5%	27.4%	
調査方式	記名式	京都府	308	15	132	7	48	12	11	499	42	
			86.0%	93.8%	82.0%	87.5%	82.8%	75.0%	78.6%	100.0%	84.4%	87.5%
	全 国	12,003	2,616	5,870	931	1,459	918	191	278	19,523	4,743	
		76.9%	65.9%	74.1%	60.0%	57.5%	57.9%	48.8%	40.8%	73.8%	60.9%	
	無記名	京都府	52	2	18	1	10	4	2	2	82	9
			14.5%	12.5%	11.2%	12.5%	17.2%	25.0%	14.3%	25.0%	13.9%	18.8%
	全 国	4,194	1,398	2,491	583	948	588	145	275	7,778	2,844	
		26.9%	35.2%	31.4%	37.6%	37.3%	37.1%	37.1%	40.3%	29.4%	36.5%	
	選択式	京都府	38	1	20	0	3	0	1	0	62	1
			10.6%	6.3%	12.4%	0.0%	5.2%	0.0%	7.1%	0.0%	10.5%	2.1%
	全 国	1,456	352	1,006	177	473	226	64	69	2,999	824	
		9.3%	8.9%	12.7%	11.4%	18.6%	14.2%	16.4%	10.1%	11.3%	10.6%	
個別面談の実施	京都府	314	13	154	7	48	12	13	5	529	37	
		87.7%	81.3%	95.7%	87.5%	82.8%	75.0%	92.9%	62.5%	89.5%	77.1%	
全 国	13,742	3,475	7,482	1,428	2,289	1,290	313	471	23,826	6,664		
	88.0%	87.6%	94.4%	92.0%	90.2%	81.3%	80.1%	69.1%	90.0%	85.6%		
「個人ノート」や「生活ノート」といったような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等	京都府	120	4	54	5	3	1	5	3	182	13	
		33.5%	25.0%	33.5%	62.5%	5.2%	6.3%	35.7%	37.5%	30.8%	27.1%	
全 国	7,386	2,297	6,561	1,335	367	212	171	251	14,485	4,095		
	47.3%	57.9%	82.8%	86.0%	14.5%	13.4%	43.7%	36.8%	54.7%	52.6%		
家庭訪問	京都府	254	14	122	6	17	3	6	4	399	27	
		70.9%	87.5%	75.8%	75.0%	29.3%	18.8%	42.9%	50.0%	67.5%	56.3%	
全 国	10,447	2,778	6,091	1,131	823	376	152	296	17,513	4,581		
	66.9%	70.0%	76.9%	72.9%	32.4%	23.7%	38.9%	43.4%	66.2%	58.8%		
その他	京都府	22	3	9	0	2	1	1	1	34	5	
		6.1%	18.8%	5.6%	0.0%	3.4%	6.3%	7.1%	12.5%	5.8%	10.4%	
全 国	958	248	511	111	87	54	41	73	1,597	486		
	6.1%	6.3%	6.5%	7.2%	3.4%	3.4%	10.5%	10.7%	6.0%	6.2%		

(注1) (A)いじめを認知した学校 (B)いじめを認知していない学校 (単位:校)

(注2) 構成比は、各区分における学校数に対する割合

⑦ いじめられた児童生徒の相談の状況

京都府：公立（京都市含む） 全国：公立

区分		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計	
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
学級担任に相談	京都府	18,689	90.0%	2,350	78.7%	360	68.4%	125	98.4%	21,524	88.2%
	全国	253,397	81.4%	57,544	74.6%	7,581	67.6%	1,514	78.7%	320,036	79.7%
学級担任以外の教員に相談 (養護教諭、スクールカウンセラー等の相談員を除く)	京都府	262	1.3%	287	9.6%	49	9.3%	4	3.1%	602	2.5%
	全国	14,159	4.5%	14,325	18.6%	2,379	21.2%	271	14.1%	31,134	7.8%
養護教諭に相談	京都府	188	0.9%	45	1.5%	42	8.0%	0	0.0%	275	1.1%
	全国	6,031	1.9%	4,196	5.4%	1,021	9.1%	22	1.1%	11,270	2.8%
スクールカウンセラー等の 相談員に相談	京都府	26	0.1%	20	0.7%	21	4.0%	0	0.0%	67	0.3%
	全国	4,043	1.3%	3,070	4.0%	755	6.7%	22	1.1%	7,890	2.0%
学校以外の相談機関に 相談(電話相談やメール 相談も含む)	京都府	12	0.1%	5	0.2%	10	1.9%	0	0.0%	27	0.1%
	全国	1,137	0.4%	823	1.1%	154	1.4%	15	0.8%	2,129	0.5%
保護者や家族に相談	京都府	1,910	9.2%	373	12.5%	42	8.0%	3	2.4%	2,328	9.5%
	全国	66,228	21.3%	19,664	25.5%	2,170	19.4%	251	13.1%	88,313	22.0%
友人に相談	京都府	587	2.8%	107	3.6%	77	14.6%	0	0.0%	771	3.2%
	全国	17,046	5.5%	7,373	9.6%	1,358	12.1%	56	2.9%	25,833	6.4%
その他(地域の人など)	京都府	28	0.1%	14	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	42	0.2%
	全国	1,230	0.4%	304	0.4%	45	0.4%	8	0.4%	1,587	0.4%
誰にも相談していない	京都府	1,155	5.6%	302	10.1%	99	18.8%	1	0.8%	1,557	6.4%
	全国	17,094	5.5%	4,991	6.5%	1,186	10.6%	158	8.2%	23,429	5.8%

(注) 複数回答。 割合は、いじめの認知件数に対する割合

⑧ 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

京都府：公立（京都市含む）

区 分		小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
①-1 職員会議等を通じて、いじめの問題について教職員間で共通理解を図った。	件数	373	166	60	20	619
	割合	97.1%	96.5%	81.1%	87.0%	94.8%
①-2 いじめの問題に関する校内研修会を実施した。	件数	345	134	27	16	522
	割合	89.8%	77.9%	36.5%	69.6%	79.9%
② 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行った。	件数	362	166	26	15	569
	割合	94.3%	96.5%	35.1%	65.2%	87.1%
③ 児童・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、児童・生徒同士の人間関係や仲間作りを促進したりした。	件数	320	111	16	18	465
	割合	83.3%	64.5%	21.6%	78.3%	71.2%
④ スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った。	件数	337	154	52	12	555
	割合	87.8%	89.5%	70.3%	52.2%	85.0%
⑤ 教育相談の実施について、学校以外の相談窓口の周知や広報の徹底を図った。	件数	225	88	22	6	341
	割合	58.6%	51.2%	29.7%	26.1%	52.2%
⑥ 学校いじめ防止基本方針をホームページに公表するなど、保護者や地域住民に周知し、理解を得るよう努めた。	件数	326	152	39	18	535
	割合	84.9%	88.4%	52.7%	78.3%	81.9%
⑦ PTAなど地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた。	件数	165	59	1	6	231
	割合	43.0%	34.3%	1.4%	26.1%	35.4%
⑧ いじめの問題に対し、警察署や児童相談所など地域の関係機関と連携協力した対応を図った。	件数	133	66	5	4	208
	割合	34.6%	38.4%	6.8%	17.4%	31.9%
⑨ インターネットを通じて行われるいじめの防止及び効果的な対処のための啓発活動を実施した。	件数	279	135	39	14	467
	割合	72.7%	78.5%	52.7%	60.9%	71.5%
⑩ 学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して機能しているか点検し、必要に応じて見直しを行った。	件数	324	144	28	14	510
	割合	84.4%	83.7%	37.8%	60.9%	78.1%
⑪ 学校いじめ防止基本方針に定めているとおり、いじめ防止等の対策のための組織を招集した。	件数	309	141	41	18	509
	割合	80.5%	82.0%	55.4%	78.3%	77.9%

③ 京都府のいじめの認知(発生)学校数・認知(発生)件数

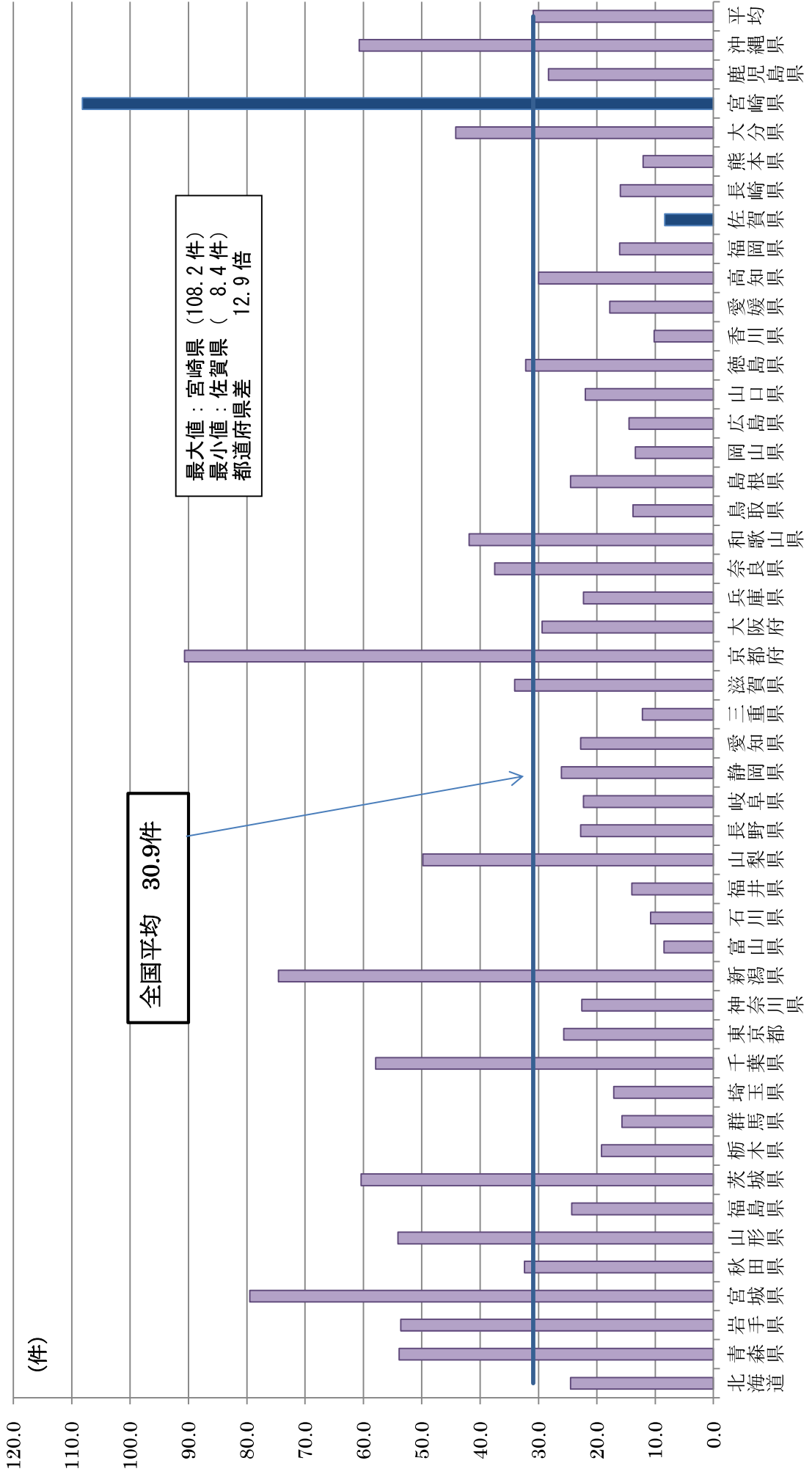
京都府：公立(京都市含む)

校種	年度	公立学校数	認知(①までは発生)学校数	認知(①までは発生)学校数の割合	認知(①までは発生)件数	認知(①までは発生)件数の増減率	1校あたり発生件数(件)
		(校)	(校)	(%)	(件)	(%)	
小学校	平成13年度	451	29	6.4%	47	▲ 21.7	0.10
	平成14年度	450	44	9.8%	51	▲ 8.5	0.11
	平成15年度	448	35	7.8%	59	▲ 15.7	0.13
	平成16年度	444	26	5.9%	64	▲ 8.5	0.14
	平成17年度	440	44	10.0%	54	▲ 15.6	0.12
	平成18年度	439	157	35.8%	409	▲ 657.4	0.93
	平成19年度	436	139	31.9%	389	▲ 4.9	0.89
	平成20年度	434	121	27.9%	289	▲ 25.7	0.67
	平成21年度	434	108	24.9%	223	▲ 22.8	0.51
	平成22年度	430	111	25.8%	220	▲ 1.3	0.51
	平成23年度	420	100	23.8%	224	▲ 1.8	0.53
	平成24年度	416	223	53.6%	6,284	▲ 2,705.4	15.11
	平成25年度	408	291	71.3%	22,785	▲ 262.6	55.85
	平成26年度	400	299	74.8%	19,669	▲ 13.7	49.17
	平成27年度	391	334	85.4%	21,412	▲ 8.9	54.76
平成28年度	386	360	93.3%	22,242	▲ 3.9	57.62	
平成29年度	384	358	93.2%	20,756	▲ 6.7	54.05	
中学校	平成13年度	181	52	28.7%	107	▲ 1.8	0.59
	平成14年度	180	38	21.1%	68	▲ 36.4	0.38
	平成15年度	179	41	22.9%	81	▲ 19.1	0.45
	平成16年度	181	26	14.4%	68	▲ 16.0	0.38
	平成17年度	181	34	18.8%	70	▲ 2.9	0.39
	平成18年度	182	94	51.6%	314	▲ 348.6	1.73
	平成19年度	177	84	47.5%	295	▲ 6.1	1.67
	平成20年度	177	81	45.8%	200	▲ 32.2	1.13
	平成21年度	177	61	34.5%	166	▲ 17.0	0.94
	平成22年度	176	56	31.8%	105	▲ 36.7	0.60
	平成23年度	175	54	30.9%	116	▲ 10.5	0.66
	平成24年度	176	119	67.6%	2,617	▲ 2,156.0	14.87
	平成25年度	175	128	73.1%	4,133	▲ 57.9	23.62
	平成26年度	173	123	71.1%	3,237	▲ 21.7	18.71
	平成27年度	174	154	88.5%	2,924	▲ 9.7	16.80
平成28年度	174	161	92.5%	3,323	▲ 13.6	19.10	
平成29年度	172	161	93.6%	2,985	▲ 10.2	17.35	
高等学校	平成13年度	72	9	12.5%	11	▲ 57.1	0.15
	平成14年度	72	12	16.7%	22	▲ 100.0	0.31
	平成15年度	72	8	11.1%	15	▲ 31.8	0.21
	平成16年度	72	16	22.2%	20	▲ 33.3	0.28
	平成17年度	72	18	25.0%	29	▲ 45.0	0.40
	平成18年度	72	31	43.1%	60	▲ 106.9	0.83
	平成19年度	72	30	41.7%	60	▲ 0.0	0.83
	平成20年度	72	28	38.9%	50	▲ 16.7	0.69
	平成21年度	71	28	39.4%	47	▲ 6.0	0.66
	平成22年度	71	23	32.4%	33	▲ 29.8	0.46
	平成23年度	70	21	30.0%	30	▲ 9.1	0.43
	平成24年度	70	57	81.4%	479	▲ 1,496.7	6.84
	平成25年度	72	60	83.3%	995	▲ 107.7	13.82
	平成26年度	72	59	81.9%	856	▲ 14.0	11.89
	平成27年度	73	65	89.0%	779	▲ 9.0	10.67
平成28年度	74	62	83.8%	660	▲ 15.3	8.92	
平成29年度	74	58	78.4%	526	▲ 20.3	7.11	
特別支援学校	平成13年度	20	3	15.0%	3	▲ 300.0	0.15
	平成14年度	20	2	10.0%	4	▲ 33.3	0.20
	平成15年度	20	1	5.0%	1	▲ 75.0	0.05
	平成16年度	21	2	9.5%	2	▲ 100.0	0.10
	平成17年度	22	1	4.5%	1	▲ 50.0	0.05
	平成18年度	22	5	22.7%	20	▲ 1,900.0	0.91
	平成19年度	22	5	22.7%	8	▲ 60.0	0.36
	平成20年度	22	7	31.8%	38	▲ 375.0	1.73
	平成21年度	22	2	9.1%	6	▲ 84.2	0.27
	平成22年度	23	2	8.7%	7	▲ 16.7	0.30
	平成23年度	23	3	13.0%	5	▲ 28.6	0.22
	平成24年度	23	5	21.7%	15	▲ 200.0	0.65
	平成25年度	24	13	54.2%	100	▲ 566.7	4.17
	平成26年度	24	7	29.2%	72	▲ 28.0	3.00
	平成27年度	24	14	58.3%	121	▲ 68.1	5.04
平成28年度	23	12	52.2%	145	▲ 19.8	6.30	
平成29年度	23	14	60.9%	127	▲ 12.4	5.52	
計	平成13年度	722	93	12.9%	145	▲ 13.7	0.20
	平成14年度	722	96	13.3%	145	▲ 0.0	0.20
	平成15年度	718	70	9.7%	154	▲ 6.2	0.21
	平成16年度	715	97	13.6%	154	▲ 0.0	0.22
	平成17年度	715	97	13.6%	154	▲ 0.0	0.22
	平成18年度	715	287	40.1%	803	▲ 421.4	1.12
	平成19年度	707	258	36.5%	752	▲ 6.4	1.06
	平成20年度	705	237	33.6%	577	▲ 23.3	0.82
	平成21年度	704	199	28.3%	442	▲ 23.4	0.63
	平成22年度	700	192	27.4%	365	▲ 17.4	0.52
	平成23年度	686	178	25.9%	375	▲ 2.7	0.55
	平成24年度	685	404	59.0%	9,395	▲ 2,405.3	13.72
	平成25年度	678	492	72.6%	28,013	▲ 198.2	41.32
	平成26年度	669	488	72.9%	23,834	▲ 14.9	35.63
	平成27年度	662	567	85.6%	25,236	▲ 5.9	38.12
平成28年度	657	595	90.6%	26,370	▲ 4.5	40.14	
平成29年度	653	591	90.5%	24,394	▲ 7.5	37.36	

# いじめの状況について

## 都道府県別の1,000人当たりの認知件数

平成29年度児童生徒問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査  
都道府県別（国公私立）





# SNS等を活用した相談体制構築事業における第Ⅰ期相談結果について

平成30年11月28日  
指導部学校教育課

## 1 相談期間

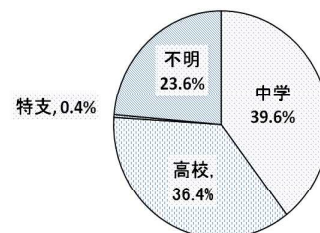
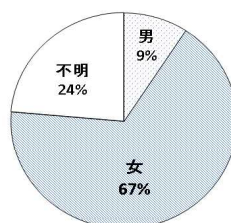
10月1日～10月31日（17:00～22:00、土日祝日含む）

## 2 対象

府内公立（京都市立を除く）中学校・義務教育学校（後期課程）・高等学校・特別支援学校（中学部・高等部）に通う生徒、約6.6万人

## 3 結果概要

- (1) 登録件数 302件（約0.4%）
- (2) 総相談件数 254件  
うち相談対応件数 250件
- (3) 一日平均 8.2件
- (4) 男女別、校種・学年別等の状況

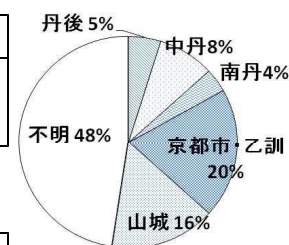


### <男女別件数>

男	女	不明
23	168	59

### <校種・学年別件数>

中学（99件）				高校（91件）			特支	不明
1年	2年	3年	不明	1年	2年	3年		
47	27	23	2	30	31	30	1	59



### <地域別件数>

丹後	中丹	南丹	京都市・乙訓	山城	不明
12	21	9	50	39	119

### <主訴別件数>

不登校	いじめ	児童虐待	友人関係	家庭環境	教職員との関係	心身の健康・保健	学業・進路	恋愛に関する悩み	いたずら・ひやかし	その他の内容	無応答
7	16	1	51	18	11	17	28	25	7	40	29
2.8%	6.4%	0.4%	20.4%	7.2%	4.4%	6.8%	11.2%	10%	2.8%	16.0%	11.6%

\* 暴力行為、貧困の問題、非行・不良行為、発達障害等については、0件

### <緊急対応件数>

- ・警察に個人情報の開示を求めるような緊急案件 0件

## 4 その他

第Ⅱ期相談期間は、平成31年1月7日～同31日（相談受付時間は第Ⅰ期に同じ。）